



# 学校だより

平成 26 年 7 月 1 日

四日市市立小山田小学校

\*\*\* 豊かな体験を重ねた自然教室でした。 \*\*\*

6月26日と27日、5年生の自然教室でした。両日とも曇りで、少し蒸し暑かったのですが風もあり比較的過ごしやすい天候でした。

5年生は、行動計画を友だち同士で確認し合いながら、また、けがを防ぐために声を掛け合いながら、2日間の集団生活を協力しながら終えることができました。

里山保全活動、カヤック、キャンプファイヤー、集団での宿泊、飯盒炊爨など貴重な体験を重ねたと思います。

一方、友だち同士で様々な問題があったと思います。一人ひとりがその場をどう乗り越えていくか、経験を積み重ねながら、将来的に人間関係を調整する力として身につけていきます。

めざす子どもの姿「豊かな心を育む」、「確かな学力を育む」、「健康な心と身体を育む」機会として、とても意義あるものでした。



## \*\*\* 学校づくりビジョンについての話です。その2 \*\*\*

前回の学校だよりでは、めざす子どもの姿「豊かな心を育む子、確かな学力を育む子、健康な心と身体を育む子」のうち「豊かな心を育む」についてのお話でした。今回は、「確かな学力を育む」についてお話します。

「確かな学力を育む子」を育てるために、具体的な3つの主な場面があります。

④達成感や成就感のある授業を通して、確かな学力を育てます。

(学び合いの学習・作品展・学習発表など)

⑤朝学習と家庭学習、朝読書を活用して、学力向上に努めます。

(あさかせタイム・家庭学習の習慣化・朝読書)

⑥地域学習・体験学習などを通して、将来に生きる力を育みます。

(総合的な学習・生活科・社会科など)

子どもたちが達成感や成就感を感じる授業づくりについて、指導者は事前の教材研究を重ねます。どのように授業を組み立てれば、すべての子どもたちが達成感や成就感を体感できるか、指導者は考えます。例えば国語科では、教材の提示の仕方、音読のポイントの指示、登場人物の心情の子どもたちへの問い方、意見の広め方、多様な意見の出させ方、話し合う視点、黒板の書き方等々、教材研究を行います。このような授業づくりを行うことで、より「確かな学力」として子どもたちに定着していきます。

家庭学習は、学習したことを定着させるうえで欠かせません。さらに、自主学習を習慣化することで、自ら学ぶ姿勢を育てていきます。

地域学習や体験学習は、子どもたちの学習への興味・関心が広がります。

「確かな学力」を身につけていく中で自尊感情を育み、友だちとの関わりの中で人権感覚を高めていきます。

今回は、めざす子どもの姿「確かな学力を育む」の観点のお話でした。

平成26.27年度 四日市市立小山田小学校 学校づくりビジョン



(文責 鳥羽)